

北播支部では、6か所の拠点があります。温泉施設、道の駅、ショッピングパークなど、多くの方が集う場所で施設利用者を対象に「まちの保健室」を開催していました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために活動自粛を決定し、令和2年度は開催しませんでした。

地元以外の方も集う場所ですが、「まちの保健室」活動も少しずつ定着し、リピーターの方も増えて定期的に健康チェックや、健康相談に来られ、顔馴染みになる方もいらっしゃいました。「まちの保健室」の再開に向けて苦悩している私共に、「病院は3ヶ月に1度だけど、間に「まちの保健室」で色々聞いてもらえると安心してた」という言葉をいただきました。また、ボランティア参加者も、毎年250名から270名程の登録があり、ボランティアからは、「多くの人に会って、健康について気づきを持って欲しいという思いで参加している」との感想も聞かれています。

/// 拠点開設のはなし

北播支部内では、平成16年4月に「ゆぴか」で「まちの保健室」が開設されました。その後、「ゆぴか」や「道の駅」での活動が定着する中、北播地区の北エリアでの拠点拡大を目指して、各地区での検討が始まりました。

多可地区内で「まちの保健室」に適切な会場を検討した結果、地域の方が多数集まり、地域の中でゆったりと相談ができる場として「なごみの里・山都」が候補にあがりました。

加東市エリアでは、複数ある温泉も候補にあがりましたが、地元の方が集う場所「社ショッピングパーク Bio」で、買い物帰りに立ち寄れる場所に決定しました。

「なごみの里・山都」「社ショッピングパーク Bio」のどちらの施設の方も、地元への活動に協力的で、場所の提供と共に、物品の保管等も引き受けていただいています。また、「なごみの里・山都」のホームページに「まちの保健室」のPR版を載せていただいています。

